

学術と文化のまち

長万部町は「豊かな心と個性を育む教育・文化・スポーツのまち」として、文化的な環境づくりに力を注いでいます。その観点から、文化財についても幅広く町内外の方に紹介し、保護、活用に努めています。

中でも価値ある文化財を多数収蔵する平和祈念館、植木蒼悦記念館、鉄道村、そして歴史的遺跡であるヲシャマンベ陣屋跡、天然記念物の二股温泉の石灰華、道南唯一の高層湿原である静狩湿原は、町を代表する文化財です。



平和祈念館

昭和58年の終戦記念日に、人類の平和を祈念して設置。高床校倉風の建物に、反戦の思いを込めた作品や心に平穏を与える美術品の数々が並びます。前庭は彫刻の庭となっており、北海道出身の世界的彫刻家、本郷新の作品「嵐の中の母子像」「わだつみのこえ」ほか3点が展示され、見学旅行等出多数の人々が訪れます。

=主な収蔵品=
丸木以里・俊「原爆の図・母子像」、円空「観音座像」、中国・孔柏基の絵画、中国・清朝の西太后の直筆書、本郷新「わだつみの声」など約430点

◎平和祈念館 ◎植木蒼悦記念館 ◎郷土資料室・鉄道村

各施設とも

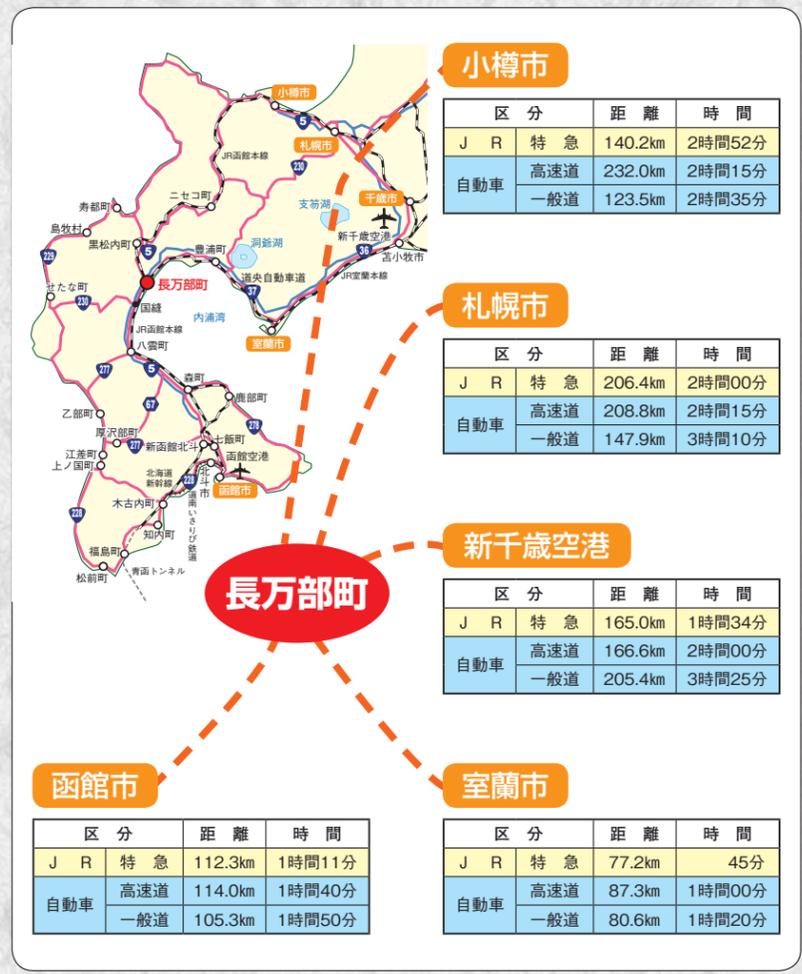
- 住所／字長万部413番地12
- 開館時間／10：00～16：00
- 入館料／無料
- 休館日／月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月30日～1月5日)
※休館日の開館については、応相談。

文化財ガイド 長万部文化紀行



長万部町 プロフィール

北海道南部の内浦湾最奥部に位置し、函館から約110km、札幌から約150kmの距離にある。大部分が丘陵部と山地で湾に沿って南北に平地がのびる。渡島半島北部特有の季節風が吹き、雪の少ない温暖な気候、原始の姿を残す山間部などの自然の魅力や、国道に近い市街地の温泉など、見どころやくつろぎどころの豊富な町です。



お問い合わせはこちら
長万部町教育委員会
住所／長万部町字長万部453番地1
電話／(01377)2-2748 FAX／(01377)2-4884

★おしゃまんべ★

植木蒼悦記念館

北海道唯一の水墨画家で俳人でもあった植木蒼悦(本名・悦郎)は、孤高貧窮の仙人とも呼ばれるような生活で自己表現を貫きました。この美術館は、蒼悦の河童をモチーフにした水墨画をはじめ、油彩画などの作品が展示されています。平和祈念館とともに見学旅行等で多くの人々が訪れています。



=主な収蔵品=
河童図、油彩画、日本画、句書など95点

郷土資料室 鉄道村 (町民センター)

郷土資料室

寛文9年(1669年)のシャクシャインの戦いから現代までの、町の歩みをたどる多くの民俗文化財や埋蔵文化財などが展示されています。



鉄道村

かつて長万部町は鉄道の町として栄え、その当時の思い出として「見て、触れて、動かせる」鉄道資料を展示しております。



和田芳恵コーナー

長万部町字国縫に生まれ、1964年に直木賞を受賞、後に故郷を描いた「暗い流れ」で日本文学大賞に輝いた和田芳恵の作品や、愛用した道具、研究資料などが展示されています。



=主な収蔵品=
アイヌ民俗資料、民具、遺物、鉄道資料、和田芳恵関連資料など